

令和3年6月24日

能代市教育委員会
6月定例会会議録

能代市教育委員会

令和3年6月24日、能代市教育委員会定例会を能代市役所二ツ井町庁舎2階庁議室において午後1時55分に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

教育長	高橋誠也
委員	木村高寛
委員	西村省一
委員	中嶋佐千子
委員	寺田恵美子

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育部長	石川佳英
教育部次長	有山勇
能代教育事務所長	本間将
学校教育課長	佐藤充
学校教育課参事	安部芳幸
生涯学習・スポーツ振興課長	田口俊成
生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長	山崎和夫
教育総務課参事	柳谷敬

○オブザーバーとして参加した者は、次のとおりである。

学校教育課指導主事	藤田元之
学校教育課指導主事	柴田裕彦

○本日の会議に付した事件

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名員の決定
日程第3	前回定例会会議録の承認
日程第4	教育長報告
日程第5	議事
	議案第22号 能代市文化財保護審議会委員の任命について
日程第6	その他

【日程第1 会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日1日限りとし、会議時間を午後4時00分までとする。

【日程第2 会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、2番木村委員と3番西村委員を指名する。

【日程第3 前回定例会会議録の承認】

○教育長

委員の皆さんから異議がないので、前回5月定例会会議録を承認する。

【日程第4 教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

5月26日(水) 令和3年度能代市初任者研修会(二ツ井町庁舎 大会議室)

〃 能代市献花式(大森慰霊碑)

6月8日(火) 市議会定例会(～23日)

〃 令和3年度能代市山本郡校長会第1回学校経営研究会

(能代市中央公民館)

6月9日(水) 東京2020オリンピック聖火リレーミニセレブレーション

(能代市総合体育館)

6月24日(木) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 庁議室)

7月21日(水) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 庁議室)

【日程第5 議事】

○教育長

「議案第22号 能代市文化財保護審議会委員の任命について」説明を願う。

○生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長

議案第22号 能代市文化財保護審議会委員の任命について《資料により説明》

○教育長

異議がないので、「議案第22号」を可決する。

【日程第6 その他】

「その他」について

各課から報告事項や連絡事項等があれば、願います。

○教育部長

令和3年6月市議会定例会の概要について

- ①一般質問の内容について《資料により説明》
- ②予算委員会文教民生分科会の審査状況について《当日配布した資料により説明》
- ③文教民生委員会の審査状況について《当日配布した資料により説明》

○学校教育課長

能代市奨学金貸与に関する規則の一部改正について《資料により説明》

○学校教育課長

能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与に関する規則の一部を改正について
《資料により説明》

○学校教育課長

能代市大学生等応援給付金給付事業実施要綱の制定について《資料により説明》

○生涯学習・スポーツ振興課長

能代市生涯学習推進協議会委員の委嘱について《資料により説明》

○生涯学習・スポーツ振興課長

能代市青少年問題協議会委員の委嘱について《資料により説明》

○学校教育課長

小中学校夏季休業期間における学校閉庁について《資料により説明》

○生涯学習・スポーツ振興課長

令和3年度の能代市成人式について《資料なし》

令和3年度の能代市成人式実行委員会を5月末に開催したところ、未だ新型コロナウイルスの感染が収束しない状況で、県内外から多くの参加者が見込まれる成人式は、参加者の健康管理や感染防止対策の徹底が難しく、8月の開催は困難との意見をいただいた。

また、2年度の実行委員からは、再々延期は望まないとの意見が多く、3年度の実行委員からは、延期してでも開催したいとの意見を多くいただいた。

市ではこれらの意見を踏まえ、8月の成人式開催は見送ることとした。

なお、令和2年度対象者の成人式は、中止とし、市長のお祝いメッセージとともに記念品を配付することとし、令和3年度対象者については、令和4年8月へ1年延期することとした。

今後は、対象者に対して、中止や延期について、市のホームページやハガキを送付するなど周知を行う。

○教育長

質問等をお願いする。

○木村委員

一般質問のシトラスリボンプロジェクトの取組に対する市の考え方は、素晴らしいご返答だと思う。

私は、生活習慣に沿って、秩序を学ぶ場、それが学校の意義かと思う。コロナという見えない敵に向かったとき、コロナがあちこちに潜んでいるような思いに駆られて、脅威に思ってしまう。そこに、潜在的な敵を見て、結局、偏見や差別の心が自然と生まれてくるものだと思う。

それに対して、どう教育的観点から対応していくのか。コロナの出る出ないというのは、ある意味やむを得ない。コロナになったときに、どう地域や学校が偏見差別を生まないよ

うな対処法をとっていけるのか。それが、教育の姿であり、地域の質が問われてくるような気がする。そんな思いで、ご答弁をされているのだなと感じた。

今、コロナ禍であるが、コロナ後もこの思いが生きていくなれば、自然といじめが消えていくのではないかと思う。決してコロナだけに対応したものではなく、コロナ後も、「こういう社会を創っていこう。」「学校を創っていこう。」という思いを、市民が受け止めて、議事録を読んでいただければありがたいと思う。

○教育長

続いて、委員から本日の議事や報告事項等以外で、意見等があれば、発言をお願いします。

○中嶋委員

新型コロナウイルスのワクチン接種について、多くの人と接する機会の多い、教職員や施設職員へ早期にワクチン接種を行うことにより、より安心した生活を過ごすことができると考える。

秋田市、横手市では、64歳以下の学校の教職員や高齢者施設の職員等を対象に、ワクチンの優先接種を行うという報道がされている。

能代市においても同様に、優先接種について前向きに検討いただきたい。

○木村委員

中嶋委員から提案があった教職員や施設職員への優先接種について、教育委員全員からの要望とし、担当部局へ内容を伝えていただきたい。

○西村委員

能代市の小中学校もフッ化物洗口を再開するとのことであり、現場の先生方には大変難儀をかけるが、未来ある子供たちの歯を守るために、よろしく願います。

未来に何かを成し遂げるためには、やはり健康が一番大事なことだと思う。コロナ禍で色々大変だとは思いますが、よろしく願います。

○学校教育課長

昨年度から能代市の小中学校では、フッ化物洗口をした際に、飛沫が飛散するという心配があり中止していた。

状況が落ち着いてきていること等から、各校には7月からフッ化物洗口を再開していただくよう通知した。

児童生徒の人数に比べると洗口場は、少なく狭いが、時間を変えたり、場所を変えたりし、工夫をしながら実施していただき、生涯歯を大事にしてください環境を作るようお願いしている。

○寺田委員

ヤングケアラーについて、能代市の実態と考え、今後の取組などを回答いただきたい。

ヤングケアラーとは、18歳未満の児童生徒で、家族等の世話、介護にあっている子供たちのことを指す言葉である。

4月に初めて聞いた時は、たとえ子供であっても家族の一員として家族のためにすべきことをするとか、役割を果たす。小さな子供であれば、お手伝いをするというのは当たり前なことだし、それほど私も深くは考えていなかったが、5月になり、秋田県でもその実態調査に取り組んでいくことをテレビやラジオ等で聞いた。

子供たちや保護者でも私と同じような考えで、家族のためにすべきことをするのは当然のことだからということで、それが自分自身の生活の時間や学ぶ機会が保証されていないという実態に考えが至っていないのではないかと思う。

また、今月の初めに、全国の自殺率などの調査報告があった中で、秋田県は減ってきているが、10代の子供たちの自殺の割合が少し増えてきていることを懸念する話が聞かれた。

今コロナ禍にあって、人との関わり合いが制限されている中で、家族単位での生活など限られた集団での生活が強いられている中で、子供たちの抱える問題も非常に多様化しており、見えない部分での支援をあらゆる角度から考えていかなければならないと思う。

○学校教育課長

能代市のヤングケアラーの状況は、把握していないが、デリケートな問題であり、実態把握をする方法も含めて、対応できる方向で進めることができればと思っている。

自殺を含めた心の相談については、各学校に相談員を配置したり、先生方が相談を受けやすい体制を整えたりしている。困ったことがある場合は、相談してほしいということを更に伝えるとともに、困っている子供がいないかどうかを確認していきたいと思う。

○教育長

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、7月21日午後2時00分から、能代市役所 二ツ井町庁舎2階庁議室において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後2時38分閉会